



PREMIUM WATER HOLDINGS

2025年3月期決算説明会資料

株式会社プレミアムウォーターホールディングス

東証スタンダード：2588

2025年5月20日（火）



目次



2025年3月期決算ハイライト

2025年3月期業績

株主還元

市場動向及び2025年3月期通期結果

2026年3月期通期業績予想と今後の戦略

Appendix



PREMIUM WATER
HOLDINGS

2025年3月期 決算ハイライト



1

営業利益において過去最高益を達成

2

保有顧客数は173万件突破 ※前期末比**11万件増**



● 2025年3月期 通期実績

売上収益

76,895 百万円

営業利益

11,482 百万円

親会社の所有者に
帰属する当期利益

5,631 百万円

EBITDA

23,907 百万円



ウォーターサーバー (宅配水) 市場シェア

32.0%

※

173万件

2016年7月
経営統合



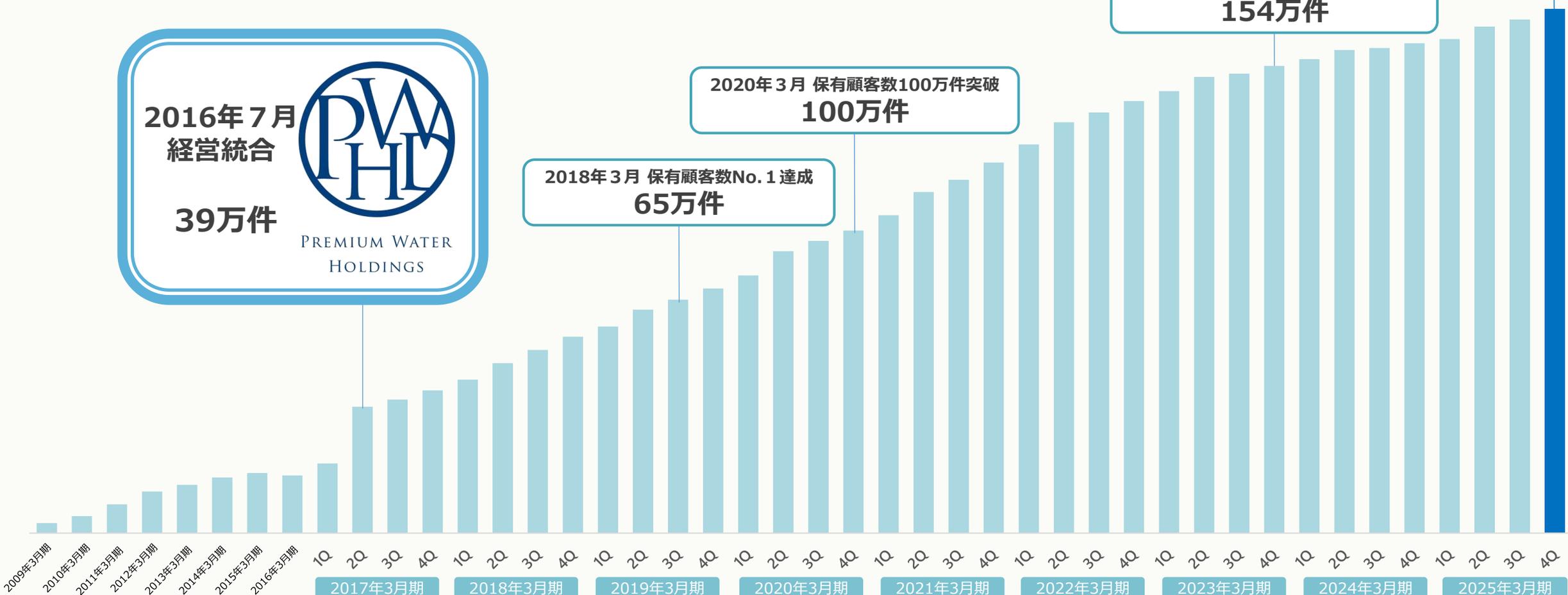
39万件

PREMIUM WATER HOLDINGS

2020年3月 保有顧客数100万件突破
100万件

2018年3月 保有顧客数No.1達成
65万件

2023年3月 保有顧客数150万件突破
154万件



※ 2025年3月末時点の当社宅配水サービス顧客数 ÷ 日本宅配水&サーバー協会 (JDSA) の統計数字に基づく 宅配水市場2025年3月末時点の宅配水予想顧客数



PREMIUM WATER
HOLDINGS

2025年3月期 通期業績

売上収益は、前期に株式譲渡を行った営業子会社のモバイル事業分が減少。

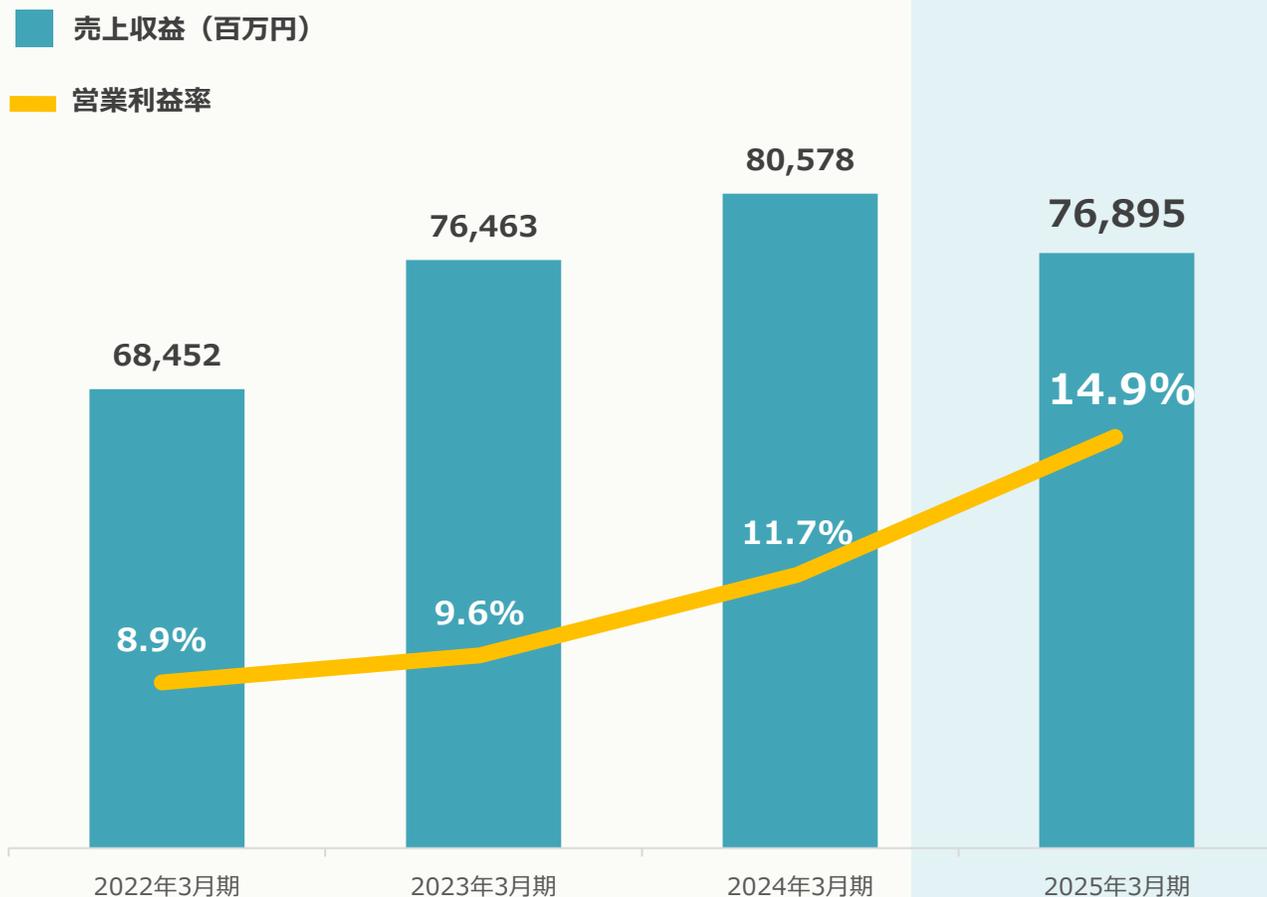
営業利益は、前期比で約**1.2倍**に増加。

(百万円)

	2024年3月期通期		2025年3月期通期			
	実績	百分比	実績	百分比	対前期増減額	前期比
売上収益	80,578	100.0%	76,895	100.0%	△3,682	95.4%
売上総利益	66,868	83.0%	65,296	84.9%	△1,571	97.6%
営業利益	9,436	11.7%	11,482	14.9%	2,046	121.7%
税引前当期利益	8,028	10.0%	9,086	11.8%	1,058	113.2%
親会社の所有者に 帰属する当期利益	5,777	7.2%	5,631	7.3%	△146	97.5%
1株あたり 当期利益（円）	195.21	—	189.40	—	△5.81	97.0%
EBITDA	20,230	—	23,907	—	3,676	118.2%



2024年3月期と比較して、売上収益は前期に売却したモバイル事業の減少があるが、ウォーターサーバー事業については堅調に推移。



モバイル事業売上

2024年3月期に行ったエフェルシープレミアム(株)の売却に伴い、年間約44億円※の売上収益が減少。

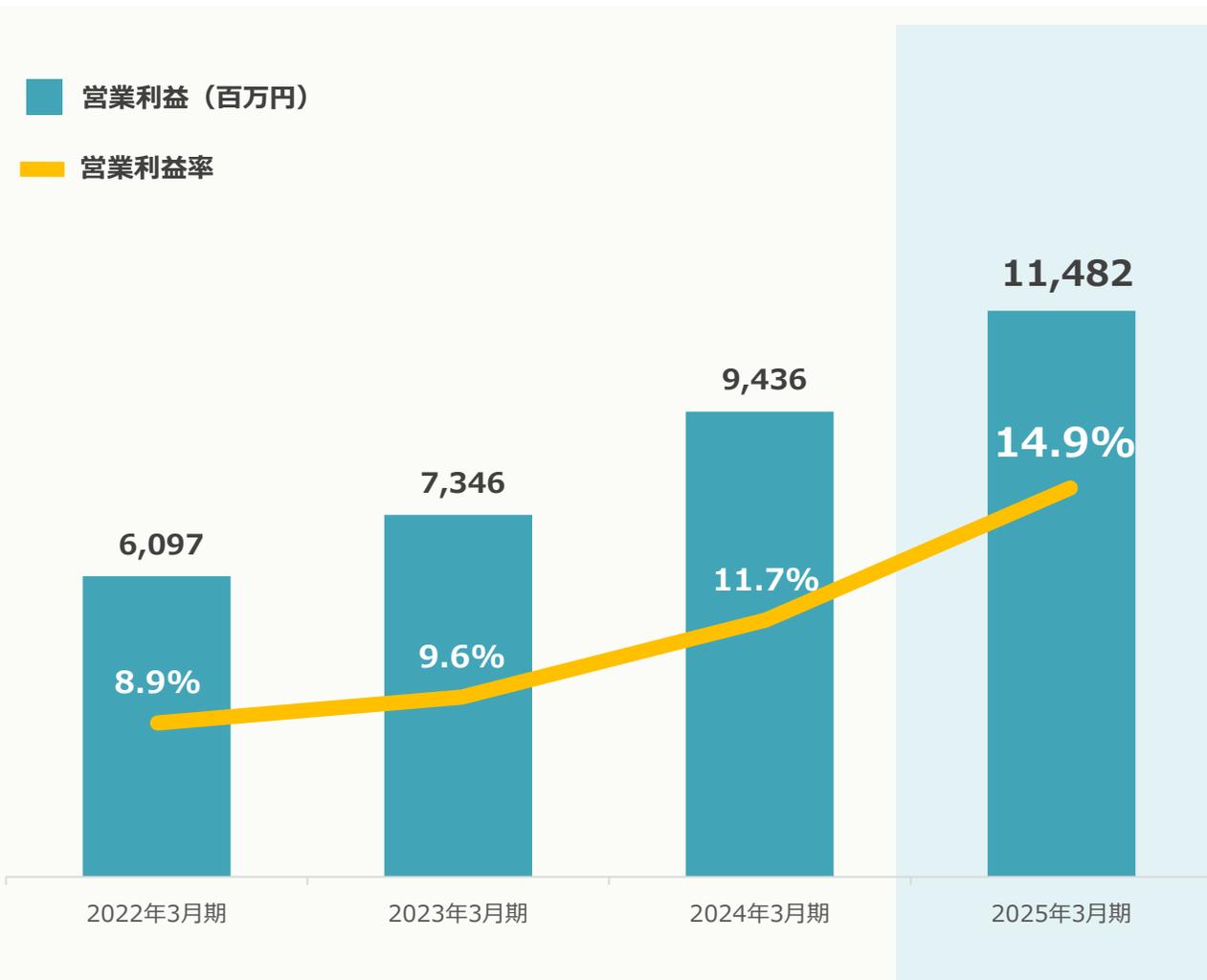
※2023年3月期モバイル事業売上実績

浄水型比率

全体保有顧客に対する割合は、約13%。
月額費用は天然水の通常契約と比較して、約7割程度。



営業利益は順調に推移。営業利益率は前期から3.2%ポイント上昇。



天然水の出荷数増加

台風や豪雨、巨大地震をはじめとする災害への対策として天然水をローリングストックする方が増加し、結果的に天然水の出荷が増加。

自社工場水出荷量前期比約128%

北方工場本格稼働 & 自社物流網

2024年4月に本格稼働した岐阜北方工場では、稼働率を向上させ製造コストを**前期比約10%削減**。自社物流網も**51.3%**と効率的な水準を維持し、物流コストの上昇抑制に成功。

顧客獲得コスト改善

営業組織の体制を見直し、生産性を上げたことにより、一件あたりの顧客獲得コストが改善し、営業利益の増加に寄与。



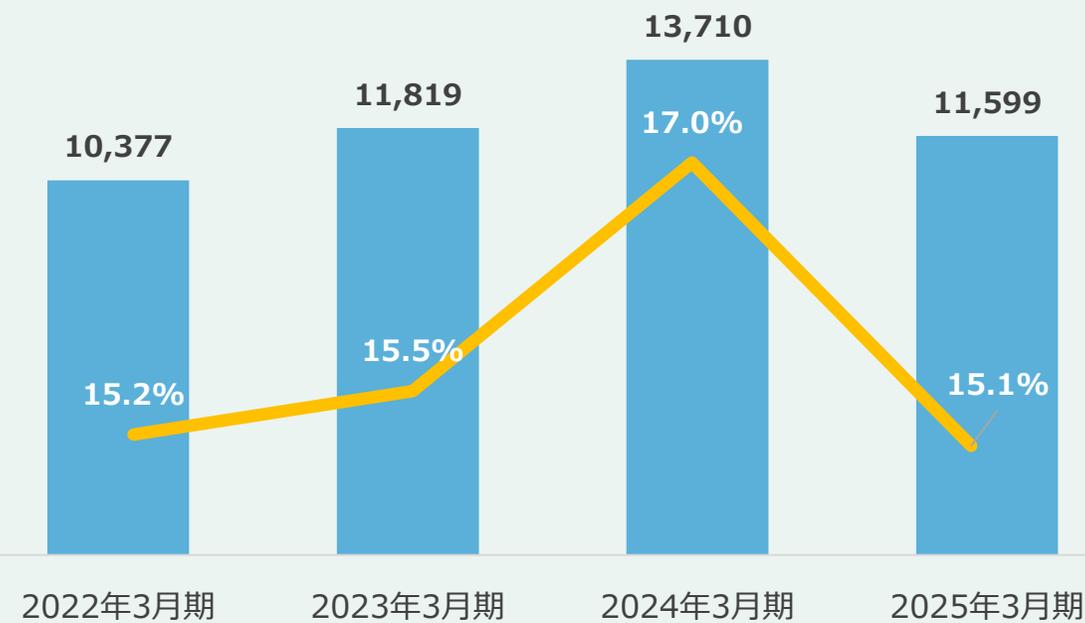
前期と比較し、EBITDAは上昇傾向、売上原価率は改善傾向。

EBITDA(百万円)



売上原価 (百万円)

売上原価率



(百万円)

	2024年3月期 通期		2025年3月期通期			
	実績	百分比	実績	百分比	対前期増減額	前期比
流動資産	44,801	45.1%	47,324	42.2%	2,523	105.6%
非流動資産	54,605	54.9%	64,751	57.8%	10,146	118.6%
資産合計	99,406	100.0%	112,076	100.0%	12,670	112.7%
流動負債	28,256	28.4%	43,076	38.4%	14,819	152.4%
非流動負債	48,379	48.7%	43,927	39.2%	△4,452	90.8%
(有利子負債)	59,494	59.8%	67,770	60.5%	8,276	113.9%
負債合計	76,636	77.1%	87,003	77.6%	10,366	113.5%
資本合計	22,770	22.9%	25,073	22.4%	2,303	110.1%
負債及び資本合計	99,406	100.0%	112,076	100.0%	12,670	112.7%
親会社所有者帰属持分比率	22.9%	—	22.4%	—	—	—
流動比率	158.5%	—	109.9%	—	—	—



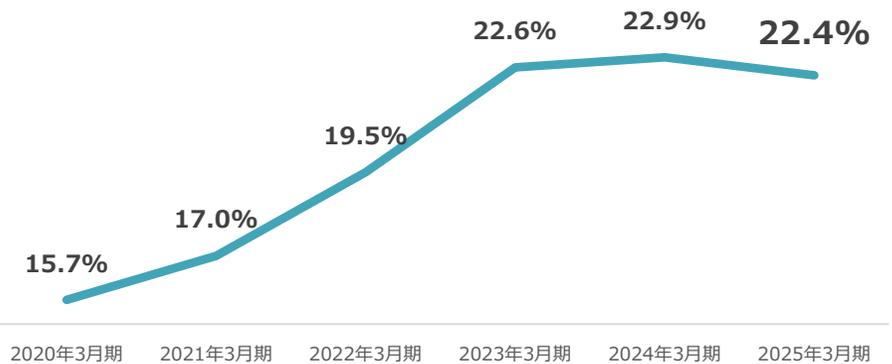
(百万円)

	2024年3月期通期	2025年3月期通期	
	実績	実績	主な内訳
営業活動による キャッシュ・フロー	19,669	20,659	税引前当期利益 9,086百万円 減価償却費及び償却費 12,424百万円 契約コストの増減額（△は増加） △2,633百万円 法人所得税の支払額 △2,072百万円
投資活動による キャッシュ・フロー	△5,001	△12,774	有形固定資産及び無形資産の取得による支出 △6,384百万円 投資有価証券の取得による支出 △5,841百万円
フリー・キャッシュ・フロー	14,668	7,885	
財務活動による キャッシュ・フロー	△9,882	△6,541	長期有利子負債の収入 9,578百万円 長期有利子負債の支出 △13,000百万円 配当金の支払額 △2,677百万円
現金及び現金同等物の 期末残高	30,561	31,900	

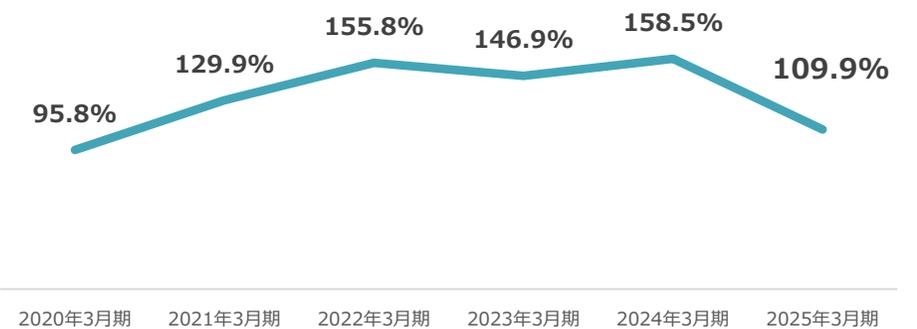


自己資本比率は目標の30%に向けて順調に推移。流動比率の低下は、1年以内償還予定の社債の増額が影響。

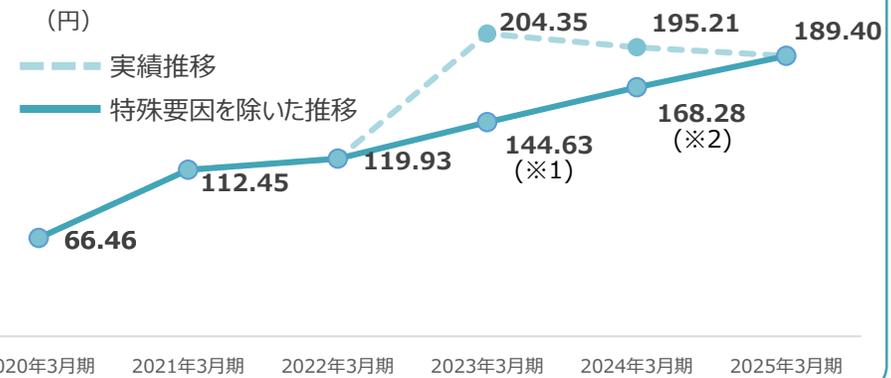
● 自己資本比率 (親会社所有者帰属持分比率)



● 流動比率 ※3



● 基本的1株あたり当期利益 (EPS)



ROE **23.6%** (2025年3月末)

- ※1 2023年3月期において、当期利益は6,057百万円でしたが、特殊要因として繰延税金資産の計上分1,753百万円を含んでおりますので、その特殊要因を除いた当期利益は4,304百万円でした。
- ※2 2024年3月期において、当期利益は5,777百万円でしたが、特殊要因として子会社譲渡の売却益797百万円を含んでおりますので、その特殊要因を除いた当期利益は4,980百万円でした。
- ※3 流動資産の流動負債に対する割合



PREMIUM WATER
HOLDINGS

株主還元



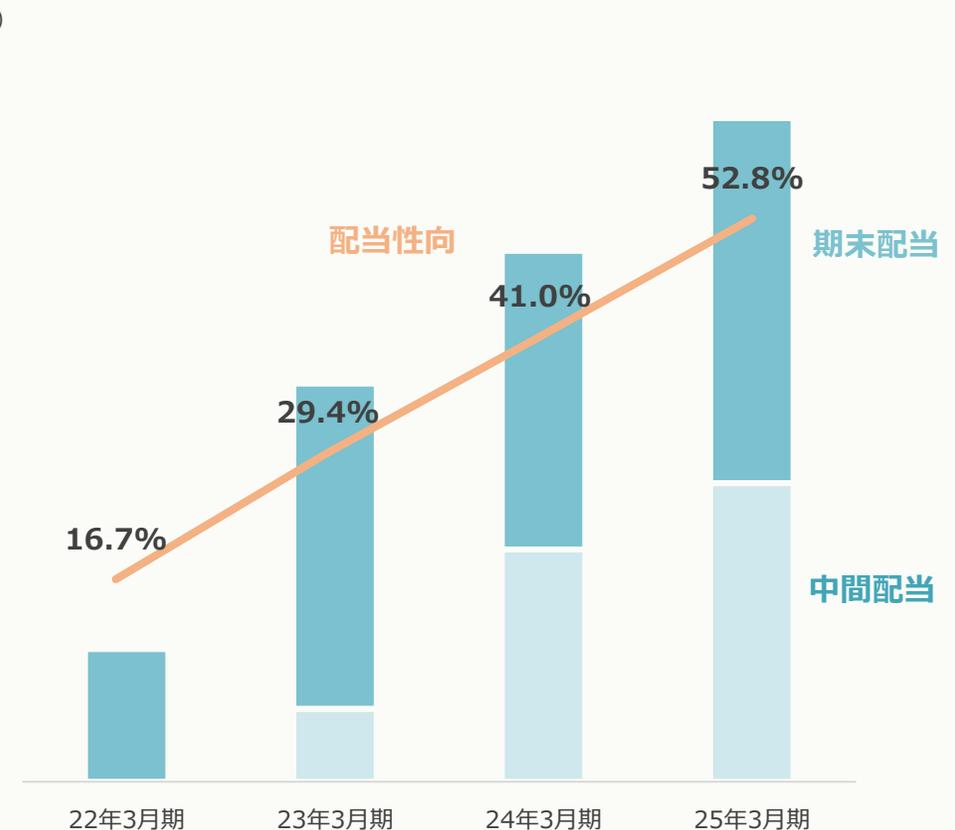
2025年3月期の期末配当は予想50円から5円増額の**55円**に決定。

また2025年5月以降、上限**5億円**の自社株買いを実施中。

今後も内部留保や設備投資への成長投資とのバランスを考慮しながら**安定的な増配を継続する方針**。

(円)

	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期
中間配当 (基準日：9月末日)	11.00	35.00	45.00
期末配当 (基準日：3月末日)	49.00	45.00	55.00
合計	60.00	80.00	100.00



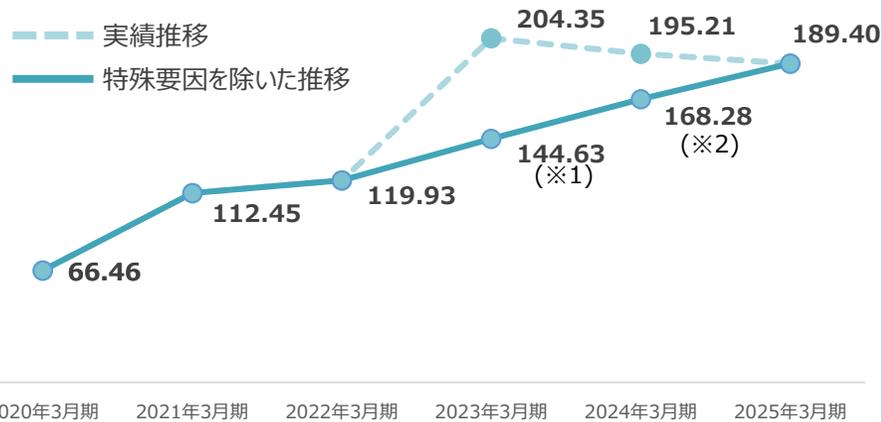


当社PBRは3倍以上で国内では高水準、PERについてもスタンダード市場では高水準となる。

引き続き当社株式の価値を高め、株主還元を強化していく方針。

● 基本的1株あたり当期利益 (EPS)

(円)



※1 2023年3月期において、当期利益は6,057百万円でしたが、特殊要因として繰延税金資産の計上分1,753百万円を含んでおりますので、その特殊要因を除いた当期利益は4,304百万円でした。

※2 2024年3月期において、当期利益は5,777百万円でしたが、特殊要因として子会社譲渡の売却益797百万円を含んでおりますので、その特殊要因を除いた当期利益は4,980百万円でした。

● PER

15.03倍

プライム市場平均と同程度
安定的に利益を創出

※2025年3月末時点

※プライム市場平均：19.8倍
スタンダード市場平均：14.6倍
(東証発表 2025年3月末時点)

● PBR

3.39倍

日本国内では高水準

※2025年3月末時点

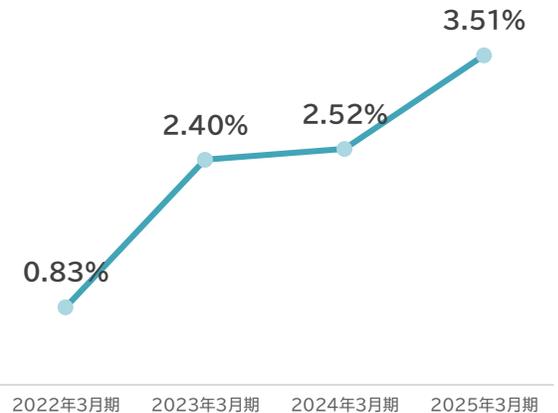
※プライム市場平均：1.6倍
スタンダード市場平均：0.9倍
(東証発表 2025年3月末時点)

● 配当利回り

3.51%

※2025年3月末時点

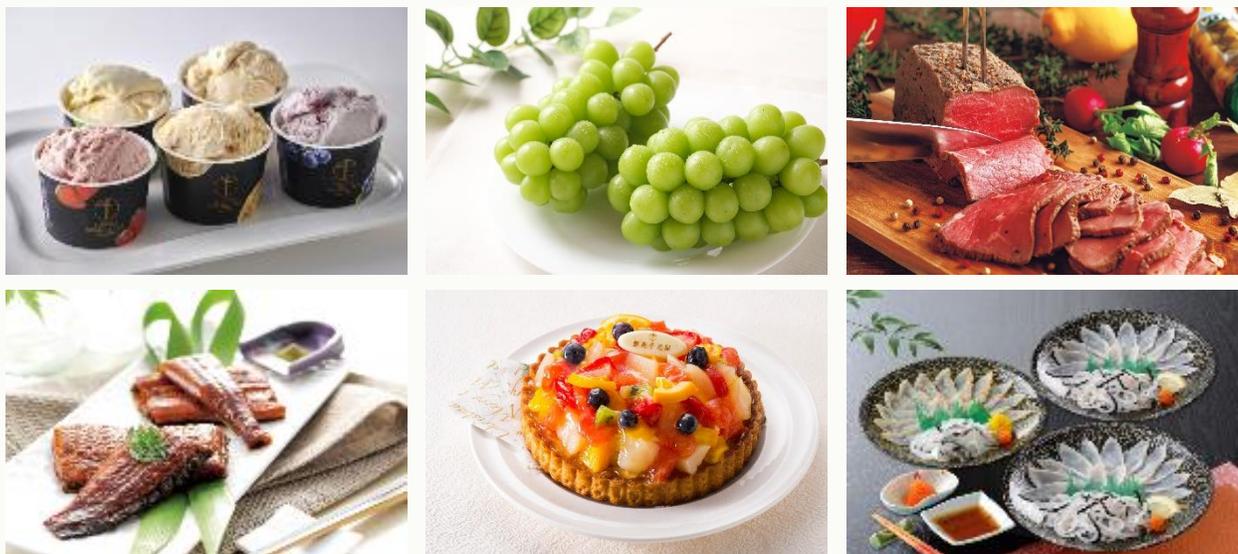
※有配会社平均利回り
プライム市場：2.42%
スタンダード市場：2.62%
(東証発表 2025年3月末時点)





2025年3月期は、当社株式を100株以上保有の株主様へ5,000円相当のカタログギフトをお届け。
また、当社の天然水をご契約の株主様には、さらに天然水1セットを無料でお届け。

【優待品①】
5,000円相当のカタログギフト



カタログギフトの品数を20品に拡充！

【優待品②】
天然水1セット（2本）

宅配水サービスご契約者様限定

ナチュラルミネラルウォーター
1セット(2本)プレゼント





PREMIUM WATER
HOLDINGS

市場動向 及び 2025年3月期通期結果



展開可能な潜在的市場は **5兆円**規模。

ウォーターサーバー市場

2,193億円 ※1

《内訳》

宅配水	1,792億円
給水型	354億円
水道直結型	47億円

浄水器市場

512億円 ※1

ミネラルウォーター市場

4,664億円 ※2

炭酸飲料

6,429億円 ※2

無糖茶飲料

(日本茶・麦茶 等)

9,092億円 ※2

清涼飲料市場

5兆5,506億円 ※2

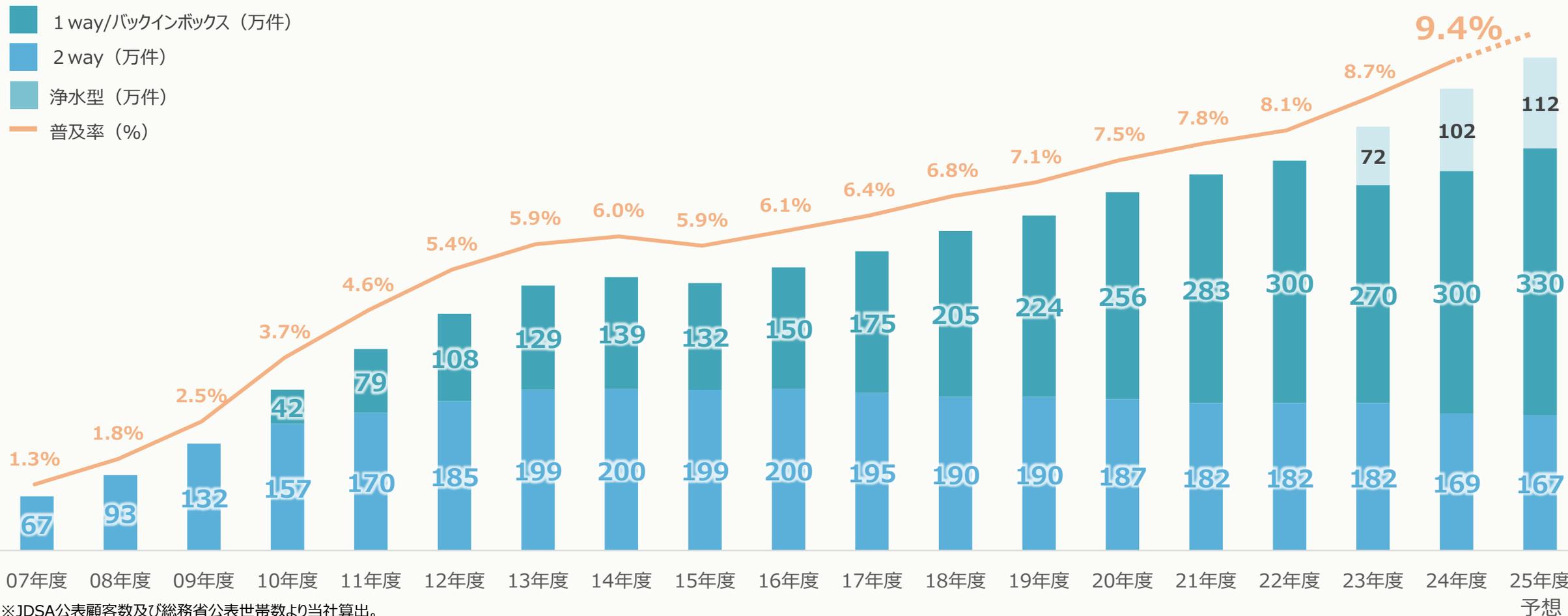
コーヒー飲料

8,167億円 ※2

※1 矢野経済研究所調べ (2024年度見込み)

※2 富士経済調べ (2024年見込み)

世帯普及率は、9.4%(※)程度と、国内には拡大の余地がある。



※JDSA公表顧客数及び総務省公表世帯数より当社算出。

日本宅配水&サーバー協会 (JDSA) の統計数字 宅配水市場顧客数 (571万件) ÷ 総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数 (6,077万 9,141世帯)」



ウォーターサーバー業界で顧客数を開示している企業において、当社が最も多くの顧客数を保有。

2024年5月にはビックカメラグループの事業継承も行い、顧客数がさらに増加。

ガス会社系

連結 子会社 岩谷産業	富士の湧水 「富士の湧水」 1way 10万件	TOKAI 「うるのん」 1way 14万件 「おいしい水の宅配便」 2way	グループ 会社 レモンガス
	トール 「ハワイウォーター」 1way 2way 25万件 「アルピナ」 1way 2way	エアウォーター 「AW・ウォーター」 1way 「北アルプスの天然水」 1way 「AW・ウォーター」 2way	
	大丸エナウイン 「エフィールウォーター」 1way 2way 「スーパーバナジウム」 1way 2way 富士ミネラル天然水 1way 2way	アクアクララ 「アクアクララ」 2way 48万件 「ハピットアクア」 浄水	

レンタル・クリーン・オフィスサービス系

ナック 「クリクラ」 2way 浄水 「feel free」 浄水	43万件 ※宅配水のみ件数	ダイオーズ 「ピュアウォーター」 2way ※顧客数はクリーンサービス等を含む	20万件
		サニクリーン 「ディスティオ」 2way 「サニクリーンの天然水」 1way	

飲料メーカー

サントリービバレッジソリューション 「サントリー天然水<南アルプス>」 1way

水宅配事業

連結 子会社 OSGコーポ レーション	プレミアムウォーターホールディングス 「プレミアムウォーター」 1way 173万件 ※2025年3月末時点 「Locca」 浄水
	いずみや「スイークレイ」 2way
	マーキュロップ 「マーキュロップ 富士山の天然水」 2way
ウォーターネット 「ウォーターネット」 2way	富士山の銘水 「フレッシュ」 1way 100万件 「エブリフレッシュ」 浄水
	コスモライフ 「コスモウォーター」 1way 50万件 「ハミングウォーター」 浄水

2024年5月
当社へ
事業継承

異業種・新規参入・その他

ビックライフソリューション (ビックカメラグループ) 「puhha」 1way 「TAPURI」 浄水	中京医薬品 「アクアマジック」 1way 2way
Kirala 「Kirala Water」 1way 「Kirala Fresh Server」 浄水	サンエス 「サンミネラル」 1way 2way
富士開発観光 「ふじざくら命水」 1way	ジャパネットウォーター 「ジャパネットウォーター 富士山の天然水」 1way 16万件



当社は、営業・水源・物流の3つの戦略で、利益を追求。



【水源戦略】





獲得コストを意識しながら
保有顧客数を**純増**させ続ける

新規獲得

+

既存顧客の
顧客満足度
追求

=

保有顧客数
の
純増



新規獲得

直販の生産性強化

直販と代販を合わせ

約**1,400名**の営業員が
全国各地で毎日稼働

テレマーケティング

ブース営業

WEB

強い販路をもつ企業と 連携強化や 他社との新しい取組み

LASTONEMILE

東証グロース 証券コード：9252

INEST

東証スタンダード 証券コード：7111

みんながうれしいウォーターサーバー
puha
【プハ】

きれいな水をたっぷり好きなだけ
TAPURI
タプリ

KABU& WATER

長期契約プラン※の 顧客増加

スリムサーバー amadanaスタンダードサーバー	famfit「ファミフィット」 amadanaスタンダードサーバー	AURA Water Server (オーラウォーターサーバー)
月額料金の目安 ひと月に1セット (12L×2本) をご注文の場合 3,974円 (税込)	月額料金の目安 ひと月に1セット (12L×2本) をご注文の場合 4,082円 (税込)	月額料金の目安 ひと月に1セット (12L×2本) をご注文の場合 4,302円 (税込)
ウォーターサーバーレンタル料 0円/月	ウォーターサーバーレンタル料 ずっとPREMIUMプランの場合 3,100円(税込)/年 ▶ 0円/月	ウォーターサーバーレンタル料 220円/月
天然水の料金 1セット 12L×2本 (500mlペットボトル48本分) 3,974円 (税込)	天然水の料金 1セット 12L×2本 (500mlペットボトル48本分) 4,082円 (税込)	天然水の料金 1セット 12L×2本 (500mlペットボトル48本分) 4,082円 (税込)

※ 1年からスタートした契約期間を現在は5年に変更。
将来的な解約率の低下に繋がる。

新規獲得

新規獲得数

前期対比 約**110%**

【5年プランの契約状況】

	2024年3月期	2025年3月期	
新規契約割合	44%	83%	前期比 +39ポイント
保有顧客割合	15%	34%	前期比 +19ポイント

✓ 直販及び他社との連携強化の結果、**新規獲得件数増加**特に**長期プランでの獲得増加**



既存顧客の顧客満足度追求

顧客ニーズに合わせた商品の研究・開発



ユーザビリティの向上



パソコン、スマートフォンで利用可能な

- ・マイページ
- ・専用アプリ
- ・LINEアカウント
- ・会員限定通販サイト「プレミアムモール」



ペットボトル軽量化による環境に配慮した製品





既存顧客の顧客満足度追求

2024年から現在までに発表した新サーバー

天然水

オーラウォーターサーバー

AURA

AURA Water Server

nendoとのコラボにより誕生したウォーターサーバー

存在感を最少化しつつ、人にも生活空間にもストレスを与えないデザインを実現しました。



2024年9月

famfit 2



2025年4月

浄水型

Locca Smart

Loccaの新しいスタンダードモデル

Slim-Rll



2024年3月

2024年9月

2025年1月

ボトルの軽量化

天然水ボトル プラスチック使用量

2010年 **145g/本**

23%減

2024年 **112g/本**

※参考：環境や社会に配慮した製品・サービスの購入意向 (パナソニック株式会社調査)



環境にやさしい商品を使用したいユーザー

全世代 70%以上

新規獲得数

前期比

約 **110%**

(2025年3月期は全体の83%が5年契約)

解約率の改善

前期比

0.23ポイントの改善

※単月平均解約率の(%)から算出

顧客数の純増

154万件
2023年3月末

7万件
プラス

162万件
2024年3月末

11万件
プラス

173万件
2025年3月末

純増数
前期比

157%



2024年4月にアメリカがPFAS（PFOS・PFOA）に厳しい規制値を導入したことで、NHKを中心としたメディアでの情報発信が増え、水道水調査結果への不安・不信から水の安全性を求める方が増加。

PFOS・PFOAとは「有機フッ素化合物（PFAS）」の一種。

ビーフロス ・ PFOS 主な用途	ペルフルオロオクタンスルホン酸 (Perfluorooctane sulfonic acid) あら メッキ処理剤、泡消火薬剤 など	ビーフオア ・ PFOA 主な用途	ペルフルオロオクタン酸 (Perfluorooctanoic acid) ほっすいざい 撥水剤、界面活性剤 など
--------------------------------	---	--------------------------------	---

※環境省では、2020年に水道水や環境中の水の目標値を定め、飲み水からの摂取を防ぐ取組を進めている。2024年6月には、食品安全委員会が健康影響について包括的に評価を行い、その結果を公表している。
引用：https://www.env.go.jp/content/000241758.pdf

PFASの製造や水質に関する規制の経緯	
年	出来事
2000年	米化学メーカーなどが一部のPFASを製造停止し代替物質に切り替え
10年	日本でPFOSの製造などが規制
16年1月	沖縄県が一部の浄水場の水源でPFASが検出されたことを公表
20年	国が水道水についてPFOSとPFOAの合計の暫定目標値を設定
20～23年度	水質検査で、一時的に暫定目標値を超える地点が複数見つかる
23年10月	岡山県吉備中央町の浄水場で暫定目標値を超えるPFASが検出されたことが公表
25年1月	同町の住民の血液検査結果が公表

日本経済新聞
ミネラルウォーターのPFAS基準設定へ議論、消費者庁
 発がん性が指摘される有機フッ素化合物（PFAS）について、消費者庁の部会は10日、ミネラルウォーターに含まれる基準値の設定を議論する第1回会合を開い...

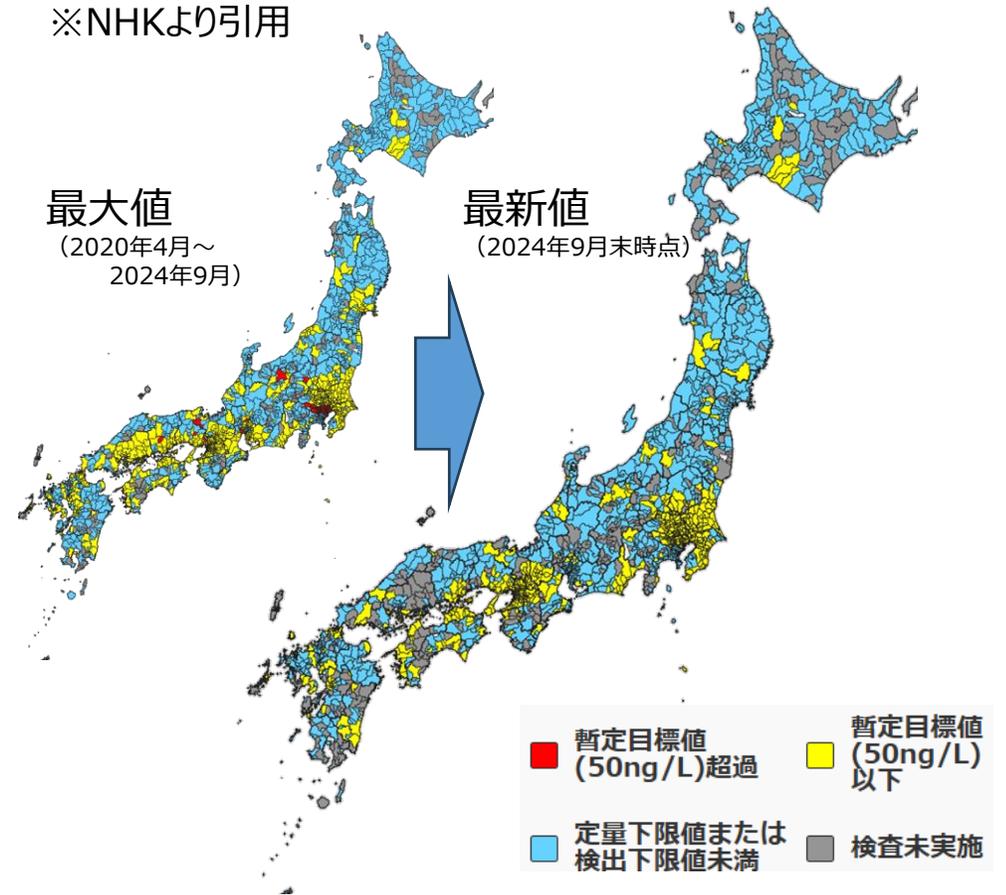
2025/02/10
 日本経済新聞
石破茂首相、来春めどにPFAS対策「リスク低減重要」
 石破茂首相は3日の参院本会議で、健康への悪影響が指摘される有機フッ素化合物「PFAS」の対策について、水道事業者への検査・公表義務付けなどの管理...

2024/12/03
 日本経済新聞
米国、PFAS汚染に浄化責任 識者「日本企業に影響も」
 米環境保護局（EPA）はこのほど、体への有害性が指摘される有機フッ素化合物「PFAS（ピーファス）」について、特に悪影響が大きいとされる2種類を「有害...

2024/06/06

【水道水のPFAS検出マップ】

※NHKより引用



引用：https://www3.nhk.or.jp/news/tokushu/20241201/pfasmap_water/?year=9999#4.97/37.5/137.5



2025年4月11日 群馬県 神流町
群馬県の神流町が供給する水道水を飲み、14人が下痢や腹痛などの症状を訴えたことを受け、県は「カンピロバクター」による食中毒と断定しました。



2024年下半期では水道管の老朽化による破裂等のニュースに加え、マンションの受水槽・貯水槽の老朽化による水質汚染問題も。国民生活に深く関わる水インフラに対し不安を感じる人が増加。

▼ 水道管の老朽化



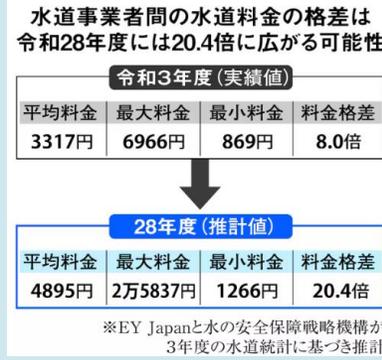
引用：https://www3.nhk.or.jp/news/
 引用：https://xtech.nikkei.com/atcl/nxt/column/18/00138/112101652/
 引用：https://www.sankei.com/article/20250128-55URP2LKNRMAREN4JZ3AYVJ33M/

経年劣化率は20%以上、しかし新しくされているのは1%以下。



図2 法定耐用年数を超えた水道管は全体の22%
 法定耐用年数を超えた管路経年劣化率は年々上昇しており、2021年度に22.1%に達した。この比率が今後上昇するのは確実だ。(出所：厚生労働省)

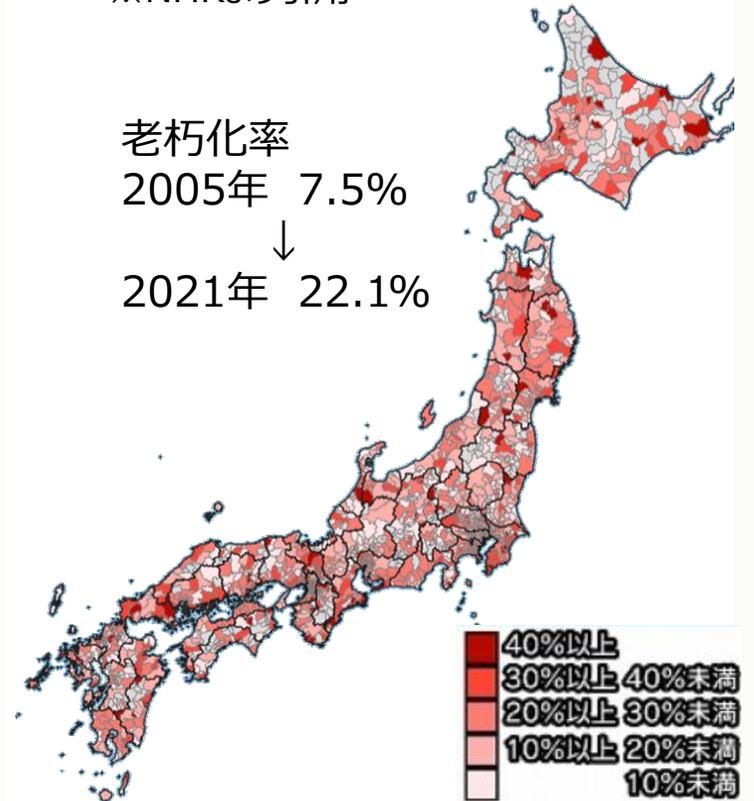
水道管老朽化に伴う工事費用の上乗せで、自治体で水道料金の大きな違いも。



【水道管の老朽化マップ】

※NHKより引用

老朽化率
 2005年 7.5%
 ↓
 2021年 22.1%

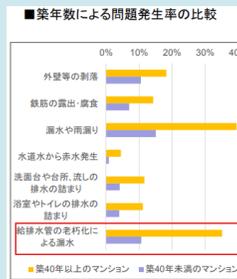


引用：
<https://www3.nhk.or.jp/news/html/20240422/k10014426931000.html>

▼ 受水槽・貯水槽の老朽化

築40年以上の高経年マンションでは、給排水管による漏水をはじめとした共有部分の老朽化による問題が発生している。受水槽・貯水槽についても例外なく、漏水や資材劣化が起きており、中の水の水質汚染などによる住民の健康被害が報告されている。

引用：https://www.mlit.go.jp/policy/shingikai/content/001313642.pdf



2024年は、全国各地で震度5強以上の地震が12回、震度6以上が4回観測され、8月には南海トラフ地震臨時情報も発表されたことで、国民全体で防災意識の高まりが伺える。

【2024年に日本で起きた震度5強以上の地震】

発生時刻	震源地	マグニチュード	最大震度
2024年08月08日16時43分頃	日向灘 宮崎の東南東 30 km付近	M7.1	6弱
2024年06月03日06時31分頃	石川県能登地方	M6.0	5強
2024年04月17日23時14分頃	豊後水道	M6.6	6弱
2024年01月06日23時20分頃	能登半島沖	M4.3	6弱
2024年01月06日05時26分頃	石川県能登地方	M5.4	5強
2024年01月03日10時54分頃	石川県能登地方	M5.6	5強
2024年01月03日02時21分頃	石川県能登地方	M4.9	5強
2024年01月02日17時13分頃	能登半島沖	M4.6	5強
2024年01月01日16時56分頃	石川県能登地方 輪島の南南西 20 km付近	M5.7	5強
2024年01月01日16時18分頃	石川県能登地方 輪島の南南西 20 km付近	M6.1	5強
2024年01月01日16時10分頃	石川県能登地方 輪島の東北東 30 km付近	M7.6	7
2024年01月01日16時06分頃	石川県能登地方	M5.7	5強

参考：https://earthquake.tenki.jp/bousai/earthquake/entries/level-5-plus/

日本経済新聞

南海トラフ地震、30年以内発生確率「80%程度」に引き上げ

地震調査委は南海トラフ地震の今後30年以内の発生確率を「75～82%」と評価した。四捨五入した数字で評価するため「80%程度」となった。24年は「74～81%」...



日本経済新聞

南海トラフ被害292兆円 政府新想定で悪化 インフラ老朽化・減災遅れ 死者29.8万人、津波浸水は3割拡大

南海トラフ地震では東海～九州の沿岸域を中心に149市町村で震度7を観測し、太平洋側の広範囲で3メートル超の津波が到達する。今回の被害想定は前回より地形...

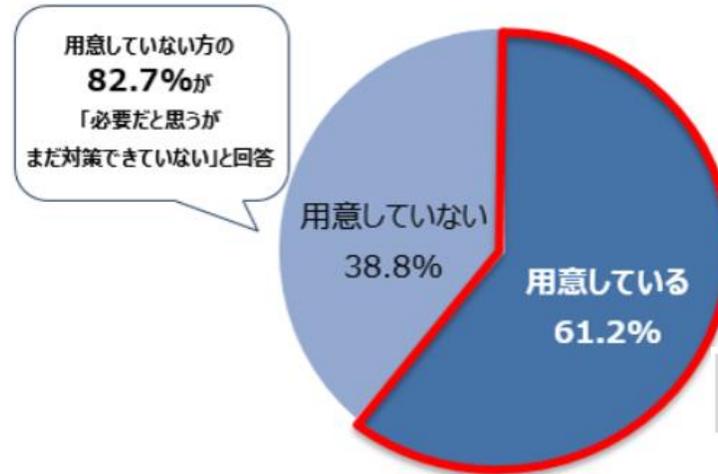


引用：日経新聞

【防災意識に関する調査結果】

※プレミアムウォーター株式会社調べ

自宅に防災グッズを用意していますか (n=6,504/SA)



防災グッズは何を用意していますか (n=防災グッズを用意している 3,983/MA)

- 1 ライト・懐中電灯 92.7%
- 2 非常食・保存食 82.1%
- 3 飲料水(お水) 80.9%

引用：https://premium-water.net/information/2025/02/27/7550/



PREMIUM WATER
HOLDINGS

2026年3月期 通期業績予想 と 今後の戦略



天然水の新規顧客増加だけでなく、浄水型ニーズの新規顧客獲得も増加傾向のため、ウォーターサーバー事業は引き続き堅調に推移し、増益・増収の予想。

	2025年3月期 (実績)	2026年3月期		
		予想	増減額	増減率
売上収益	76,895	80,000	3,104	104.0%
営業利益	11,482	12,000	517	104.5%
親会社の所有者に 帰属する当期利益	5,631	6,500	868	115.4%
1株あたり当期利益 (円)	189.40	218.94	29.54	115.6%



引き続き内部留保や設備投資等とのバランスを考慮しながら**安定的な増配**を続けていく方針。

1株あたりの配当金

(単位：円)

	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期	2026年3月期 (予想)
中間配当	11	35	45	55
期末配当	49	45	55	55
合計	60	80	100	110



獲得コストを意識しながら保有顧客数を**純増**させ続ける

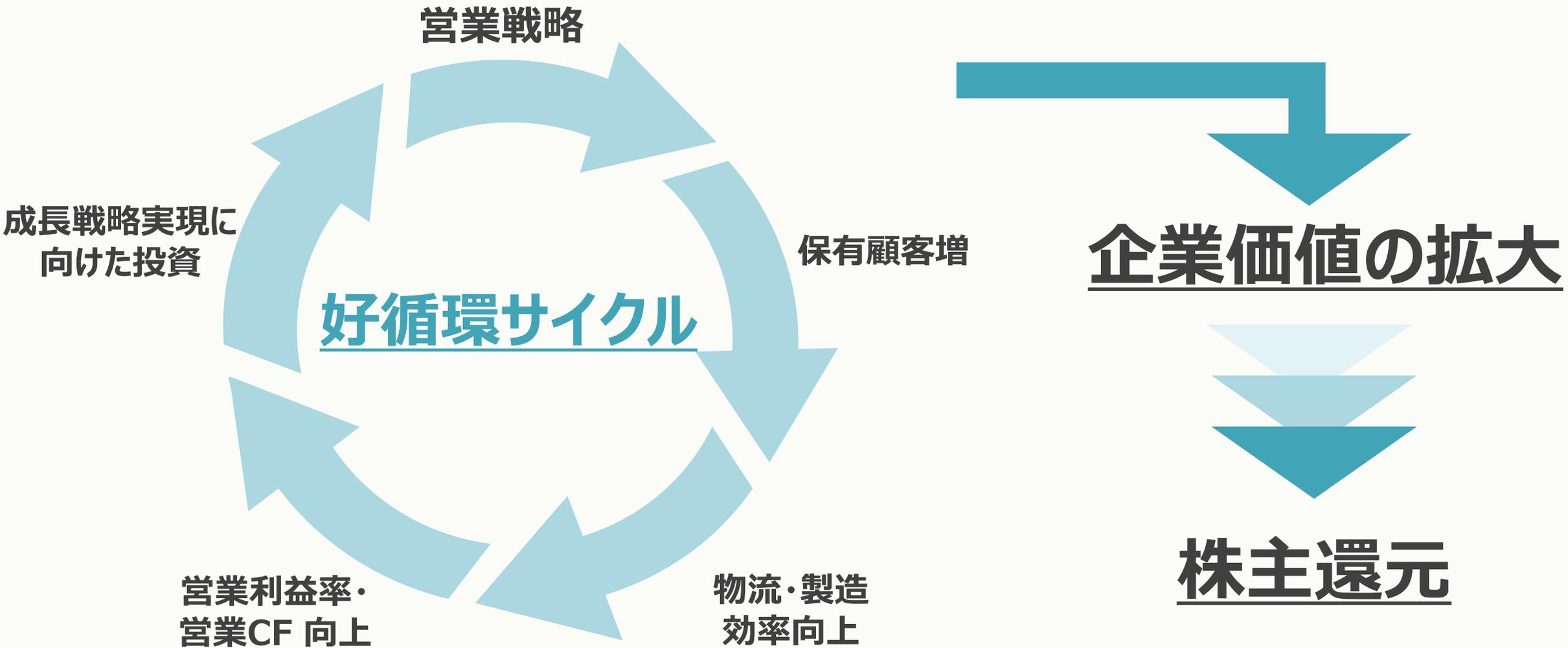
新規獲得

+

既存顧客の
顧客満足度
追求

=

保有顧客数
の
純増





PREMIUM WATER
HOLDINGS

Appendix

(1) 会社概要・事業内容



会社名	株式会社プレミアムウォーターホールディングス
設立	2006年10月13日
所在地	<東京本社> 東京都渋谷区神宮前1-23-26 神宮前123ビル5階 <本店> 山梨県富士吉田市上吉田4597-1
代表者	代表取締役社長 金本 彰彦
従業員数	882名（役員、臨時従業員含まない） ※2025年3月31日現在
資本金	4,727百万円 ※2025年3月31日現在
事業内容	自社ブランド「PREMIUM WATER」を中心とするミネラルウォーターの ウォーターサーバー事業を行う子会社等の経営管理及びそれに付帯又は関連する業務
主要なグループ会社	プレミアムウォーター株式会社 プレミアムウォータープロダクツ株式会社 株式会社LUXURY 株式会社PWリソース 株式会社ライフセレクト SINGAPORE FLC PTE.LTD

当社は「100年続く企業」となるべく、以下の経営理念を軸に事業を行っています。

VISION

自社の活動を通じて人々の生活を豊かに
そして**世界で一番愛される会社へ**

MISSION

日本の天然水と言う唯一無二の価値を日本人に
そして世界に伝える事で社会的意義を果たし、地方創生を実現する



各地の水源から採水したナチュラルミネラルウォーター（天然水）をワンウェイ方式で宅配するホーム・オフィス・デリバリーを主な事業として展開しています。

日本各地の採水地

全国 8ヶ所（自社工場 3ヶ所を含む）から天然水を採水



宅配便で定期配送

2本1セットで配送
→ 税込3,974円（1,987円/本）



ご家庭へお届け

ご希望の配送日を指定してお届け
ペットボトル容器は家庭から資源ごみとしてリサイクル





ウォーターサーバー需要の高まり



社会的背景
(外的要因)



水資源を未来へつなぎ、
日本の天然水の価値を高める

PWHD (プレミアムウォーターホールディングス) は

宅配水
業界シェアNo.1※1

宅配水業界
最多の8水源

PWHD誕生以来
ユーザー数連続更新

安心・安全に注力した
浄水型の展開



PREMIUM WATER HOLDINGS

圧倒的な営業力

工場の最新化

配送効率の最適化

安心・安全な天然水を
安価で提供するための
基盤作り

製造原価を抑えながら
プラスチック量の
少ないボトルで
おいしい水を全国へ

配送効率の最適化を図る
ための自社物流※2 網を
維持することにより
物流コストの抑制を実現

※1 2025年3月末時点の当社顧客数 (173万件) ÷ 日本宅配水&サーバー協会 (JDSA) の統計数字に基づく 宅配水市場2025年3月末時点の予想顧客数 (524万件)

※2 当社の配送管理システムに参加している配送パートナー

天然水という差別化が難しい商品で、No.1の市場シェア。競争優位を構築・維持する3つのポイント。

1 業界No.1の顧客獲得力

圧倒的な営業力がある直販のノウハウを代販へ伝えることで、さらに強固な販売網を構築。



2 業界No.1の8水源（うち自社工場3ヶ所）

月間約500万本（約250万顧客相当）の生産能力を誇り、岐阜北方工場の竣工により、生産能力・生産効率が向上。



3 自社物流網の構築で効率的な配送

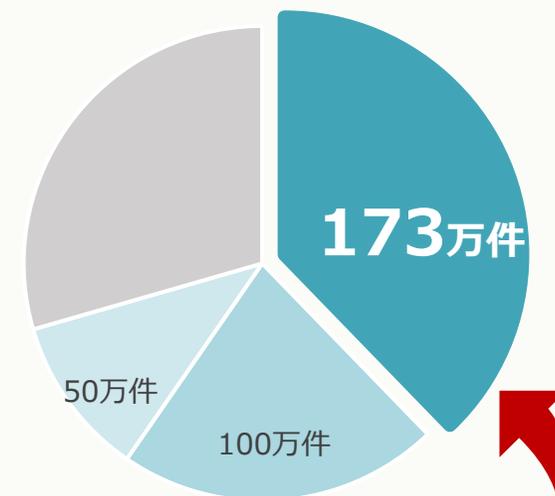
大手物流会社に左右されない自社物流網を構築したことにより、自社物流比率が51.3%まで上昇。大幅なコスト削減を実現。



ウォーターサーバー市場

顧客数 **No.1**

業界シェア **32.0%** (※1)



(※2)

■ プレミアムウォーターホールディングス

■ A社

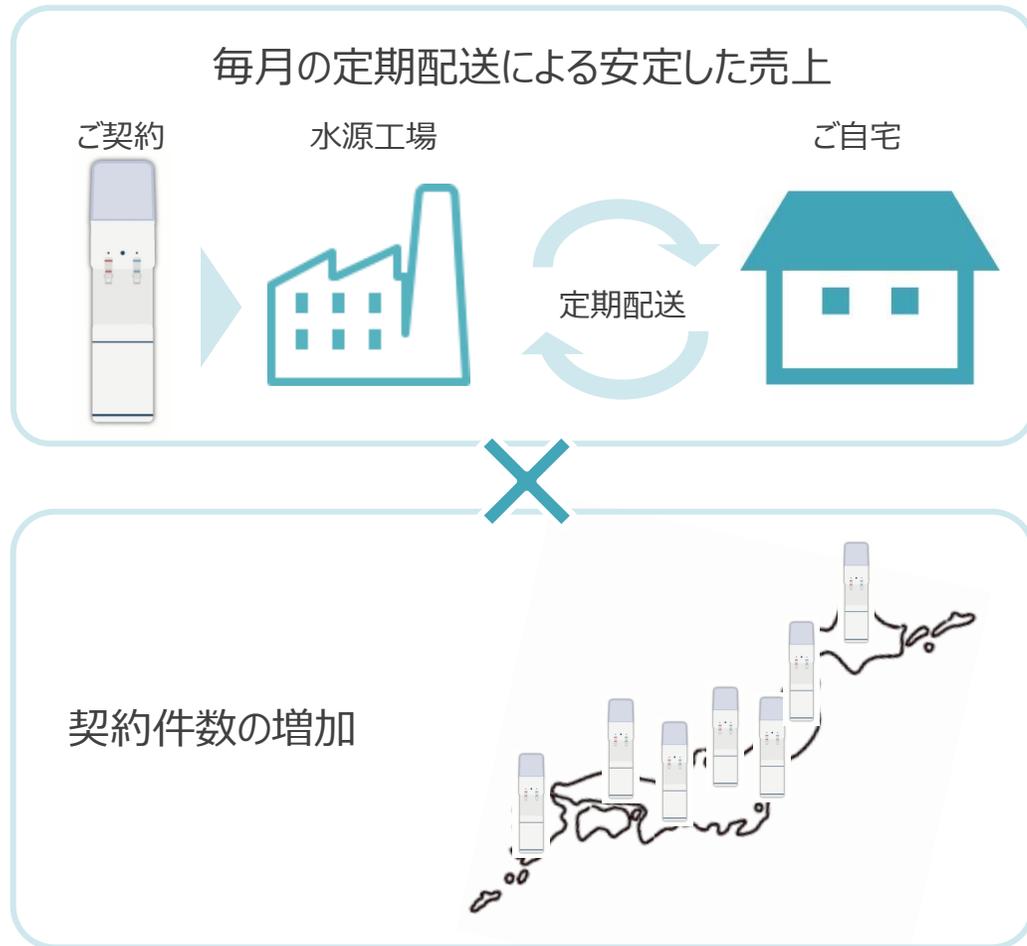
■ B社

■ その他

※1 JDSA2024年度宅配水業界統計より算出

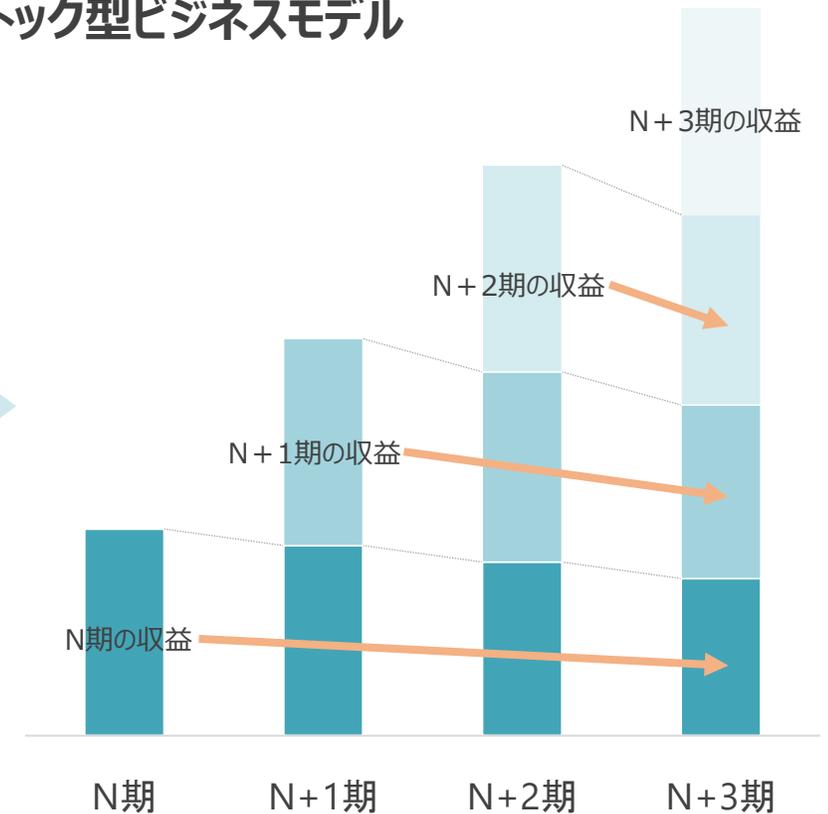
※2 日本流通産業新聞2025年1月9日号より当社作成

顧客の増加により確実に収益増加が見込める、安定性の高いビジネスモデル。



顧客 1 件あたりの獲得コストが一定水準であれば

ストック型ビジネスモデル



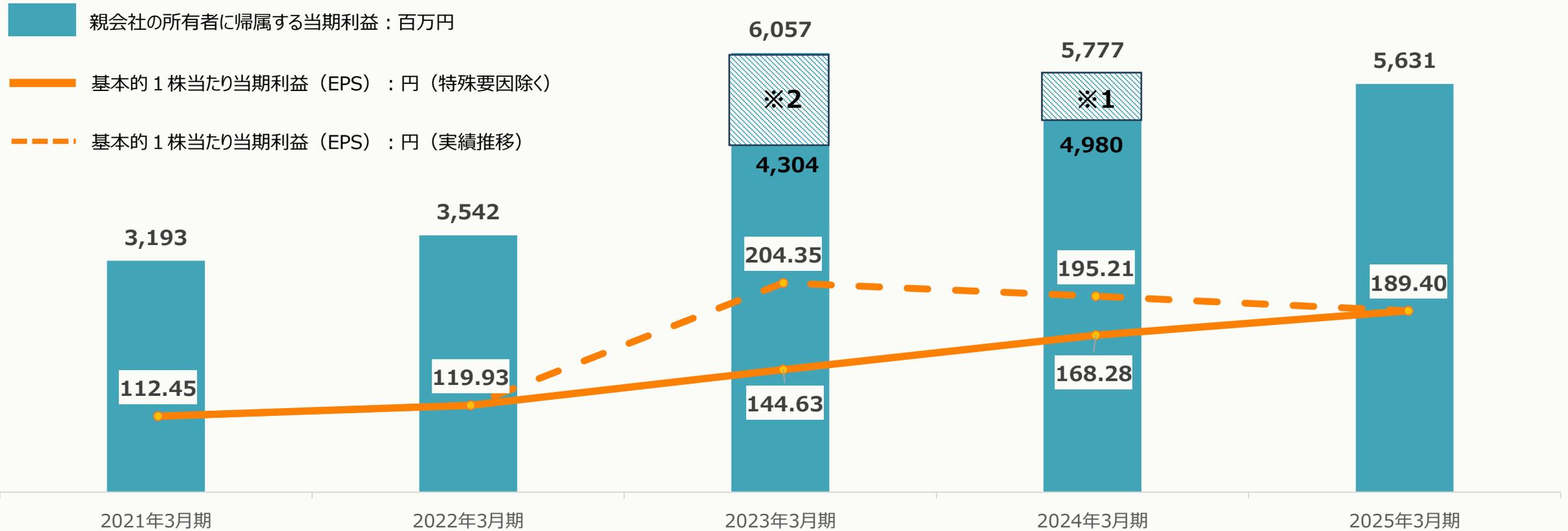


PREMIUM WATER
HOLDINGS

Appendix

(2) 2025年3月期詳細

当期利益及びEPSについて、2023年3月期と2024年3月期に特殊要因による増益があったが、本業のウォーターサーバー事業で順調に利益を伸ばし、2025年3月期における実質的な当期利益は増加している。



※1 今後の業績見通し等を踏まえ、慎重に回収可能性を検討した結果、2023年3月期のみの特異要因として繰延税金資産1,753百万円を計上いたしました。

※2 2024年3月期においては、子会社であるエフェルシープレミアム株式会社を売却したことにより、子会社売却益797百万円を計上いたしました。



その他株式投資関係の指標は以下のとおり。

● 株主資本配当率 (DOE)

12.4%

※2025年3月末時点

● ROIC

7.7%

※2025年3月末時点

● 配当性向

52.8%

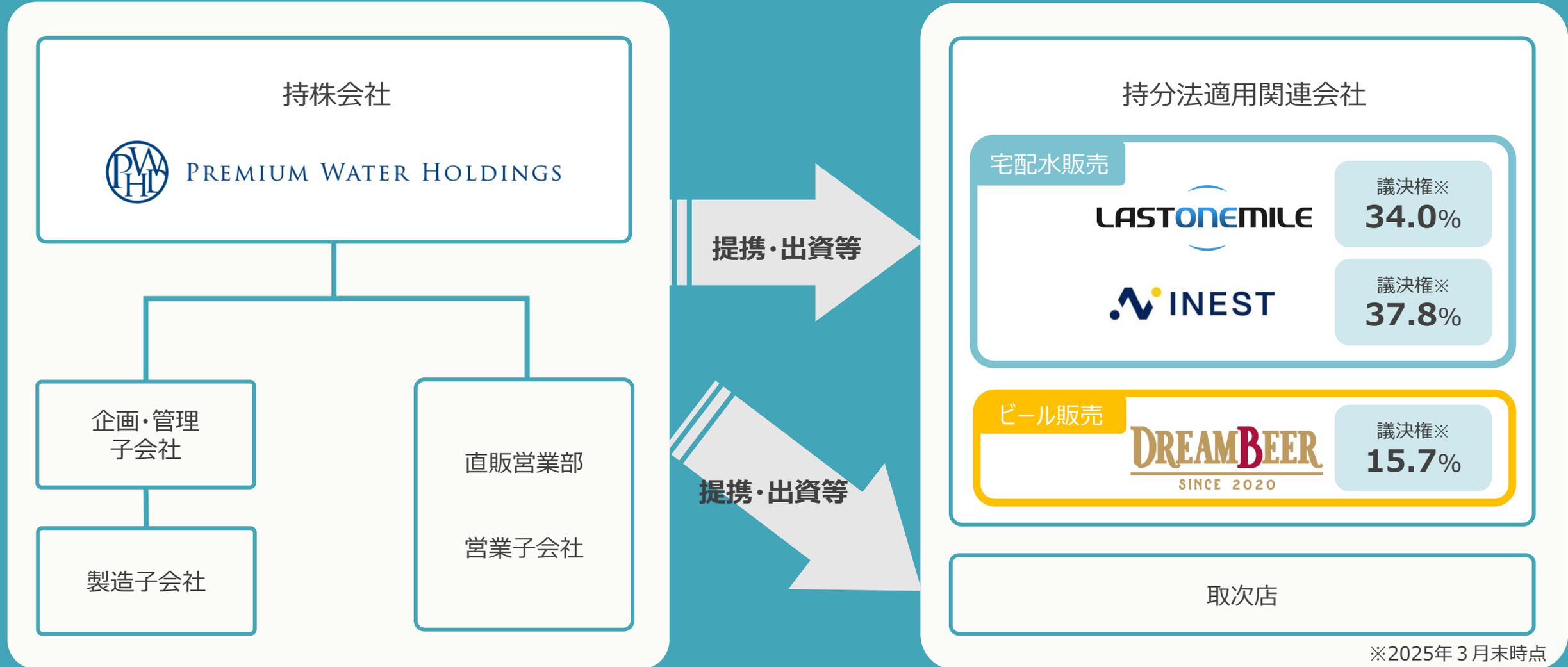
※2025年3月末時点

● ROA

5.0%

※2025年3月末時点

営業力強化への投資に加え、効率的な製造・配送体制の構築に注力していく。



※2025年3月末時点



PREMIUM WATER
HOLDINGS

Appendix

(3) 資本コストと株価を意識した取組み



現状／課題点と今後

2025年3月期末の当社ROEは23.6%、PBRは2025年3月末時点でプライム市場の平均PBR1.6倍を大きく上回った3.39倍でした。投資を通じて更なるキャッシュフローの拡大に成功してきたことが主な要因であると評価しております。当社のビジネスモデル上、自己資本比率は2025年3月期末で22.4%と国内企業の平均よりも低い結果となっておりますが、目標の30%に向けて財務環境の改善による自己資本比率の向上を図る必要があると考えております。

2026年3月期は上場維持基準達成のため、親会社との協議等を行ってまいります。合わせて、主力ウォーターサーバー事業における売上収益の増加および営業利益率改善による利益の増加に取り組み、ステークホルダーの皆様へ利益の還元を続ける体制を整えてまいります。

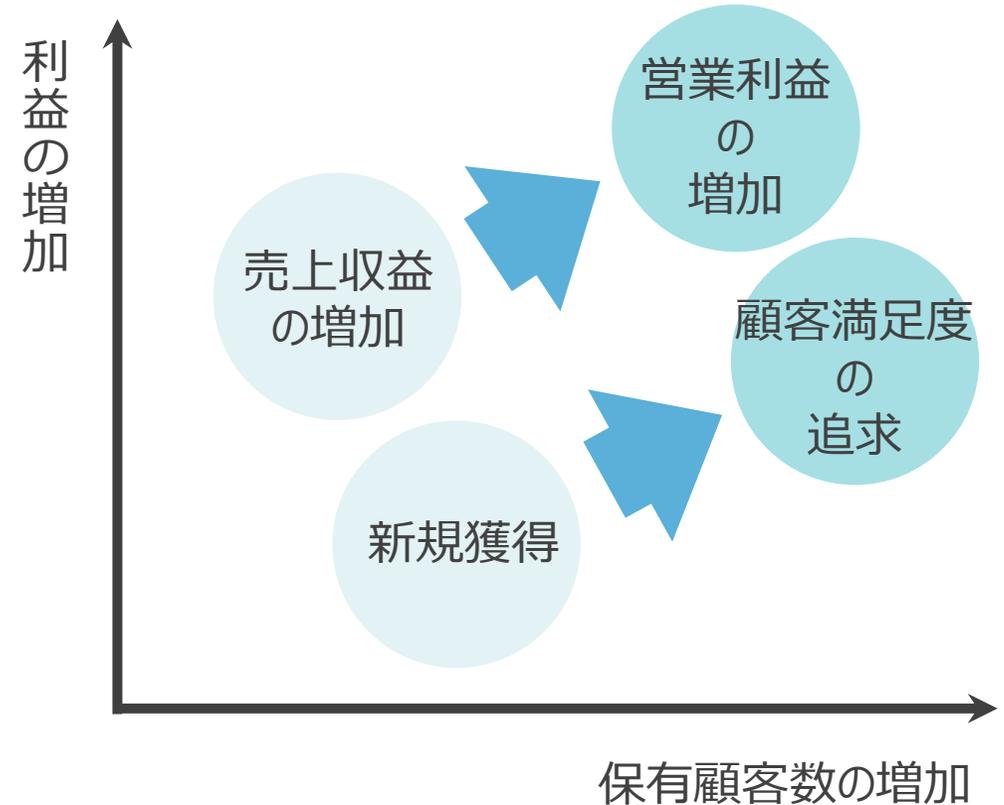
取組み方針

実務活動

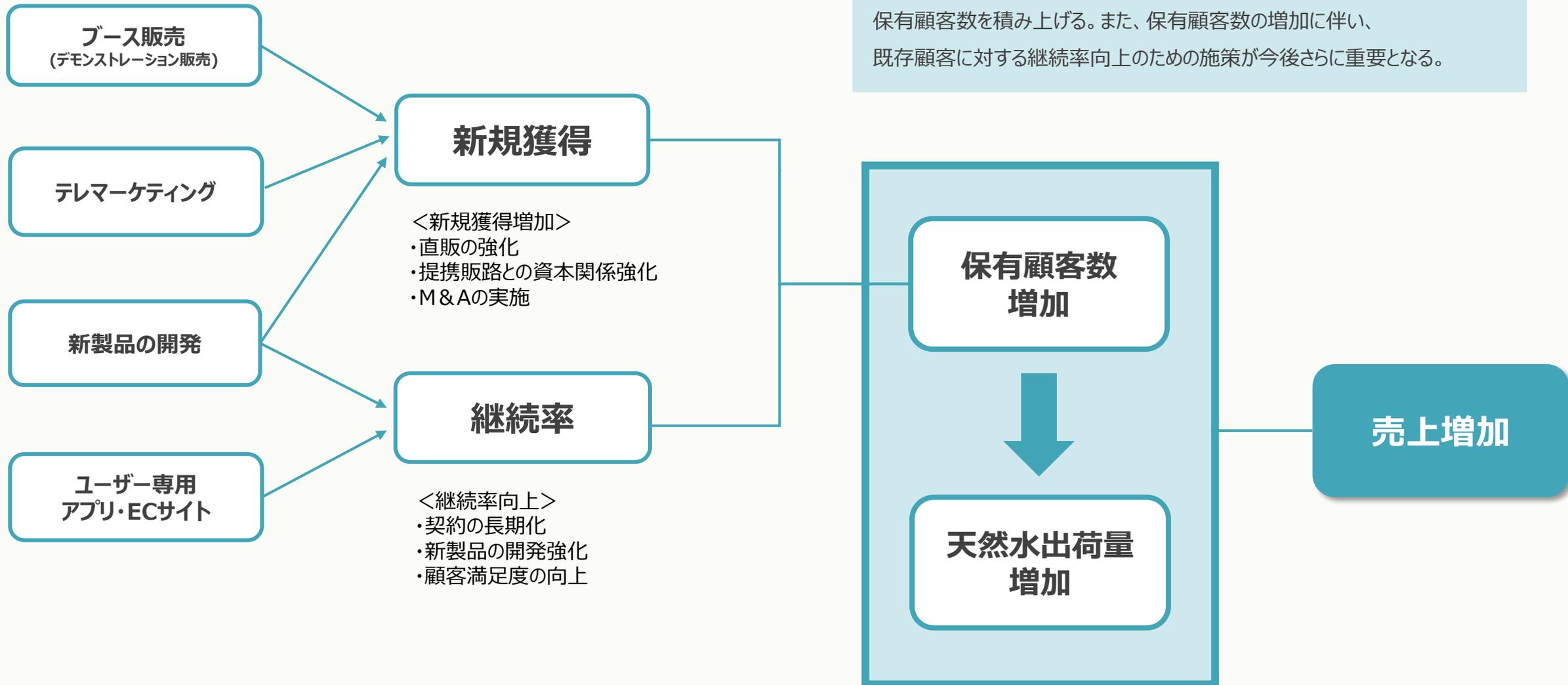
- ☑ ウォーターサーバー事業の利益拡大
- ☑ 株主還元の拡充
- ☑ キャッシュフローの改善
- ☑ コーポレートガバナンス体制の整備

IR活動

- ☑ 情報開示の充実
- ☑ 投資家との対話拡大



利益率を高めるための経営戦略を実施



業界シェアNo.1の顧客基盤の拡大に注力する。



■ 保有顧客数 (件)



水関連事業		
天然水	浄水型	その他

顧客基盤拡大3つの施策

- ① 直販の生産性の強化
- ② メーカー特化型戦略による顧客満足度の向上
- ③ M&A・出資・業務提携による営業力の向上



PREMIUM WATER
HOLDINGS

Appendix

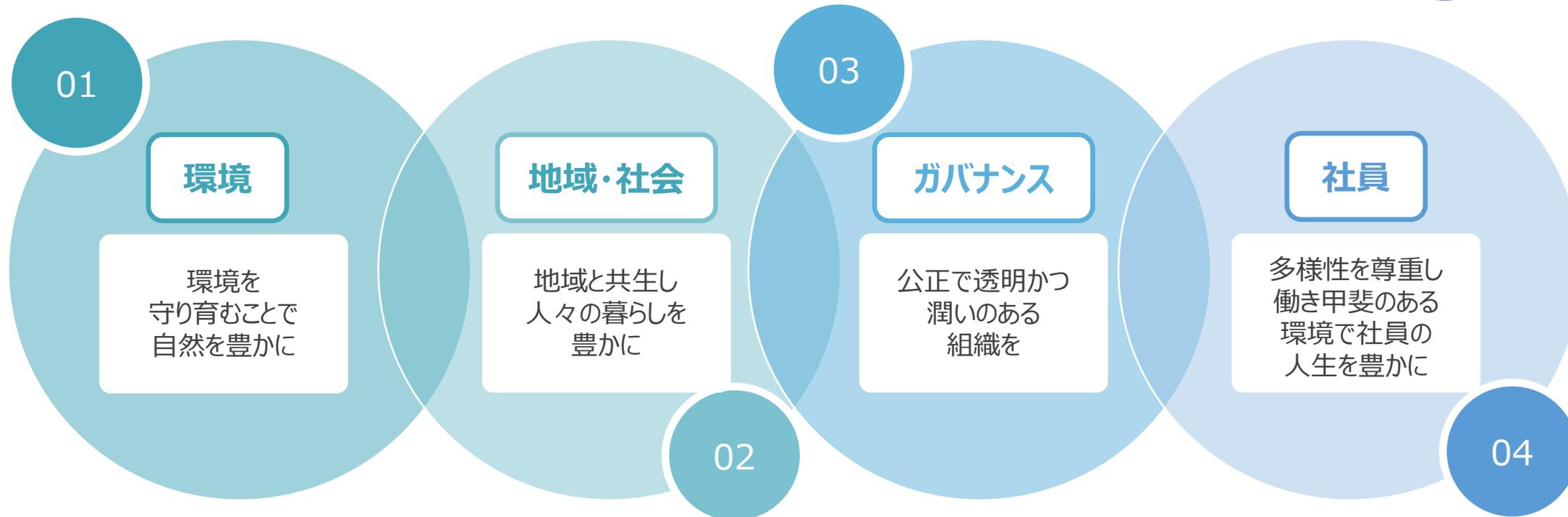
(4) SDGsの取組み



PREMIUM WATER
HOLDINGS

プレミアムウォーターホールディングスでは「水を守り、人を育てる」を掲げ、事業活動を通じたさまざまな社会課題に取り組み、私たちに関わる全ての人々が豊かになることを目指します。

そして社会課題の解決と経済発展の両立を図ることによって、持続可能な社会の実現に貢献していくことを宣言いたします。



- ・地下水を守る
- ・カーボンニュートラル推進
- ・プラスチック適正処理
- ・循環型社会の構築
- ・森林保全
- ・再生可能エネルギーの推進

- ・地方創生
- ・自然災害復興支援
- ・日本の貧困問題サポート
- ・子どもへの教育
- ・福祉施設の支援

- ・ガバナンスの徹底
- ・コンプライアンスの徹底

- ・ダイバーシティ推進
- ・働き甲斐の促進
- ・健康経営



安心・安全なお水を提供するために

定期的な調査報告

有機フッ素化合物（PFOS・PFOA）検査結果

有機フッ素化合物PFAS（ピーファス）のうち、有害性が指摘される規制対象物質「PFOS（ピーフォス）」と「PFOA（ピーフォア）」は検出されていません。
（2024年10月現在）

検査月	富士吉田	富士	北アルプス	岐阜北方	吉野	朝来	金城	南阿蘇
2024年 下期 (10月実施)	検出なし	検出なし	検出なし	検出なし	検出なし	検出なし	検出なし	検出なし
2024年 上期 (5月実施)	検出なし	検出なし	検出なし	検出なし	検出なし	検出なし	検出なし	検出なし
2023年 下期 (10月実施)	検出なし	検出なし	検出なし	検出なし	検出なし	検出なし	検出なし	検出なし
2023年 上期 (5月実施)	検出なし	検出なし	-	検出なし	検出なし	検出なし	検出なし	検出なし
2022年 下期 (11月実施)	-	-	検出なし	-	-	-	-	-

放射性物質検査結果

2025年

2025年3月分

- 放射線量 自主検査結果（富士吉田）
- 放射線量 自主検査結果（富士）
- 放射線量 自主検査結果（北アルプス）
- 放射線量 自主検査結果（岐阜北方）
- 放射線量 自主検査結果（朝来）
- 放射線量 自主検査結果（吉野）
- 放射線量 自主検査結果（金城）
- 放射線量 自主検査結果（南阿蘇）

3. 測定結果	核種名	測定結果 (Bq/kg)
	放射性ヨウ素131 (I-131)	検出されず
	放射性セシウム134 (Cs-134)	検出されず
	放射性セシウム137 (Cs-137)	検出されず
	放射性セシウム136 (Cs-136)	検出されず

地下水脈からくみ上げた原水は、4段階以上のフィルターで丁寧に除菌、クリーンルームで新品のペットボトルにボトリングされます。製造工程では、独自に設けた厳しい品質管理規定により、毎日定期的な水質検査や放射性物質検査がおこなわれており、定期的に検査結果を公開しています。



災害時の支援・復興サポート

工場地域と災害に備えた協定



山梨県富士吉田市、兵庫県朝来市と「災害時における飲料水の供給に関する協定」を締結しており、災害発生時に被災者に飲料水の提供が必要となった場合、無償供給およびサーバーの無償貸与を行います。

災害支援・復興サポート



西日本豪雨による被災地支援品の寄贈、熊本地震における義援金寄付、熊本復興支援イベントの開催等を行い、「令和6年 能登半島地震」においても、被災地支援を行っています。



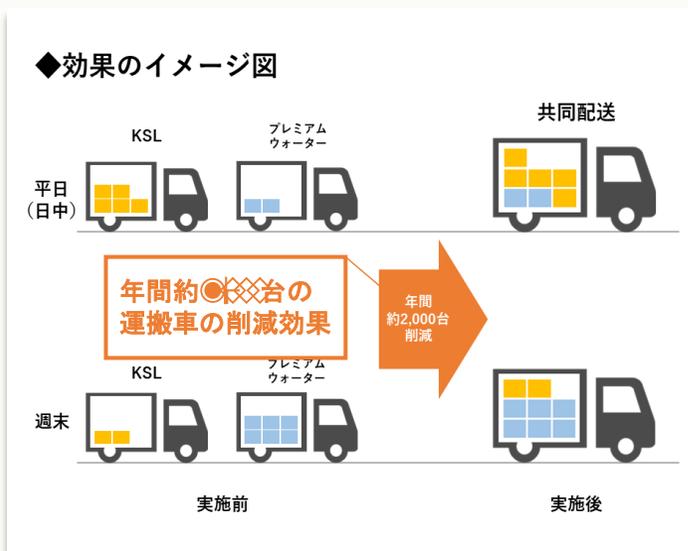
地方創生への寄与



全国に拠点を設け、地方に水源を開拓し、雇用を創出いたします。

各工場においては、現地で採用活動を積極的に行い、工場がある地域の人々とその地域全体の活性化につなげています。

環境に配慮した新しい物流



物流コスト高騰の中、提携先企業と当社とで共同配送を実施し、物流の効率化とコスト削減を目指す。「2024年問題」をはじめとした社会課題の解決への貢献を目指し、環境負荷の低減化を図る。

- 【主な取り組み】** 2023年12月、江崎グリコ（株）ら3社と、グリーン物流パートナーシップ優良事業者 特別賞を受賞。
2024年8月、コクヨサプライロジスティクス（株）との共同配送を開始。



ウォーターステーションの実施



イベントやLIVE等にご来場いただいた皆様に無料でお水を提供する給水スポットである「ウォーターステーション」。特に夏場のイベントでは水分補給が重要であり、マイボトルを持参するだけで水分補給が可能なウォーターステーションは、熱中症予防の1つにもなります。また、来場者の方にマイボトルを持参していただくことで、環境に配慮したSDGsの取り組みの一環にもなります。

こども食堂へのお米寄付



貧困や孤食という問題を抱える子どもたちの食が少しでも豊かになることを目的に、貧困家庭や孤食の子どもに食事を提供する「子ども食堂」に自社富士吉田で収穫したお米を寄贈しました。

小学校での出張授業



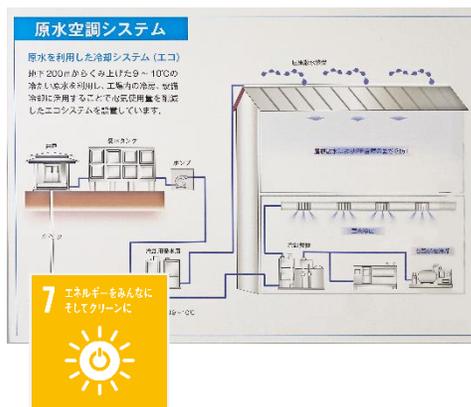
小学校から行われるキャリア教育の一環として出張授業を実施しています。天然水を取り扱う企業だからこそ伝えられる「お水や自然の大切さ」と「日本の天然水という価値ある資源を未来に残していくために、自分たちにできることは何か」を子どもたちに自由な発想で考えていただきます。

ウォーターエイドジャパンへの継続的な寄付



“SDGs特化型”の新たなウォーターサーバーブランド「PREMIUM WATER FUTURE」を立ちあげました。「PREMIUM WATER FUTURE」の売上の一部を愛すべき未来への想いを具現化する活動団体「ウォーターエイドジャパン」へ寄付することで、多くの人々が衛生的なお水を利用できるように支援しています。

地下水の利用



富士吉田工場では、地下水200mからくみ上げた9度～10度の冷たい原水を利用し、工場内の冷房・設備冷却に活用することで電気使用料を削減したエコシステムを設置しています。

安心安全のナチュラルミネラルウォーター



同社グループの製品（ナチュラルミネラルウォーター）は、一般の公的基準よりも厳しい自社基準を設け、1日に10数回に及ぶ自主的な検査（水の微生物検査、理化学検査、官能検査）と定期的な放射線物質の検査を実施しています。また、赤ちゃんのからだにもやさしい「軟水」を提供しています。

PETボトルの軽量化



PETボトルの構造を変更し、従来より約23%軽量化（プラスチック使用量削減）したボトルを開発いたしました。これにより年間278t※1のプラスチック使用量を削減することができます。

※全てのボトルが100%切り替えされた場合

公平な人事制度・ジェンダー平等への取り組み



人事考課での公平性を確保するために、人事ポリシー・考課制度を再整備しています。また、産前産後休業や育児休業・育児休業給付、育休中の社会保険料免除のほか、制度の周知や情報提供を行っています。

森林整備活動（西桂地区）



地域の水資源育成に向け、水源涵養機能の高い森が、良い水資源を生み、豊かな食生活を生むという考えから、西桂工場のある山梨県の西桂地区において健全な森を作る間伐等の整備を行っています。



1. 掲載された情報についてご注意いただきたい点

当資料を通じ、財務情報、経営指標等の情報の開示を行います。当社は、当資料を通じて情報開示を行うにあたり細心の注意を払っておりますが、当資料に掲載した情報について内容の正確性等を保証いたしません。当資料による情報開示は、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終的な決定は、ご自身の判断でお願い致します。当社は、当資料に掲載された情報を利用したことにより生じたいかなる損害についても、一切責任を負いません。

2. 将来の見通しに関する事項について

当資料に掲載されている情報には、業績予測等の将来の見通しに関する記述が含まれていますが、これらはリスクや不確実性を内包するものです。業績予測等の将来の見通しに関する記述は、その実現性を保証するものではなく、当社を取り巻く経営環境や市場動向の変化等により、実現しない可能性があることにご注意ください。

3. 当資料の運用について

当資料は予告なく配布の中止や内容の変更を行うことがあります。当社は、当資料を利用できなかったことにより生じたいかなる損害についても、一切責任を負いません。

＜お問い合わせ先＞

株式会社プレミアムウォーターホールディングス IR担当
メールアドレス：ir@premiumwater-hd.co.jp



PREMIUM WATER
HOLDINGS